

様式第4号（第5条関係）

平成26年10月30日

古賀市議会議長

奴間 健司 様

議員名 西尾 耕治



平成26年度政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 平成26年度政務活動費収支報告書  
（平成26年10月24日議員辞職のため、4月～10月分）
- 2 添付書類
  - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
  - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
  - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

平成26年度政務活動費収支報告書

議員名 西尾 耕治

1 収入

政務活動費 70,000円

2 支出

項目	金額(円)	支出内訳書の番号
調査研究費	119,285	1, 2, 4
研修費		
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
支出合計	119,285	

3 残額 0円

## 別紙2

## 平成26年度政務活動費支出内訳書

番号	期 間	内 容	経費 (円)	備考
1	4月21日 ～23日	沖縄県那覇市、宜野 湾市視察研修	37,200	
2	5月26日 ～28日	東京都「サンマリー ナ」、板橋区、新宿 区視察研修	53,300	
3	5月29日	福津市障害者施設 (福間サンテラス) 視察研修	0	近隣の施設の ため
4	8月6日 ～7日	岡山県総社市、岡山 市視察研修	28,785	

※研修及び視察には報告書を添付のこと

№ 077512

領 収 証

西尾 耕治 様 2014 年 4 月 11 日

金 額				¥	3	7	2	0
-----	--	--	--	---	---	---	---	---

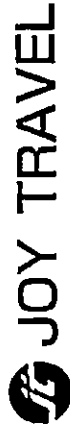
但し 旅費 でした

上記の金額正に領収致しました

収 入	紙
印	

係 印	
-----	--

請求 No.	19910
現金	✓
内小切手	
訳 振 込	
相 殺	



ジョイ トラベル 株式会社  
 〒811-3108 福岡県古賀市中央1丁目6-40  
 tel (092)943-1355  
 fax (092)943-1366

ANA チケットお客様控 (航空引換証)

ニシオ コウジ 様

確認番号

752156494

1. 4月21日 ANA 481便  
福岡  
FUKUOKA  
包括旅行割引運賃

07:40発  
→ 沖縄  
OKINAWA

クラス Y

予約番号

\*\*\*\*

座席20C禁煙後方通路側  
航空券有効期限: 2014年 4月21日

合計運賃額  
(FARE/CHARGE(TAXINCL))

\*\*\*\*\*

<ご案内>

- ・座席指定がお済みの場合は、空港でのチェックインが不要な「スキップサービス」がご利用いただけます。(幼児有りの場合や、行程によってはご利用いただけない場合もございます。)
  - ・座席指定がお済みでない場合は、自動チェックイン機で「確認番号」を入力してeチケットお客様控をお受け取り下さい。
  - ・ご予約の変更および、発行店舗以外での払戻しはできません。
  - ・ご搭乗の際、お預けになる手荷物がある場合には航空会社カウンターにてお手続き下さい。ご出発時刻15分前までに保安検査場を通過し、10分前までに搭乗ゲートへお進み下さい。
  - ・表示されている出発時刻については、変更となっている場合がございますので、ご出発前に再度ご確認ください。
- 当社の旅行条件書に記載されていない事項については、当該航空会社の国内運送約款に則ります。

発行日 2014年 4月 5日  
受付番号 RGKETB-01(0001927) 8934 JN九州  
取扱販売店 8934 ジョイトラベル

【販売店使用欄】

PNR:CRGFQ TKT:51NRPQ JTBTKT:L.00003  
OCR:1010041796061012  
IIT:1001 S8180-0 17KZ013-B/04-21

手続き時・搭乗時は、右の2次元バーコードをかざして下さい。  
尚、2次元バーコードは当旅程にのみ有効です。



J A L e チケット控 / 航空引換証

ニシオ コウジ 様

確認番号

8 1 7 6 K 1 0 0

1. 4月23日 JTA 54便 13:30発  
 沖縄/那覇 → 福岡  
 OKINAWA/NAHA FUKUOKA  
 個人包括旅行割引運賃 クラス Y  
 座席20C禁煙  
 航空券有効期限: 2014年 4月23日  
 ※予約便に限り有効

全旅程合計

\*\*\*\*\*

<ご案内>

- ・座席指定がお済みの場合は、JALタッチ&ゴーサービスをご利用いただけます。  
 当日空港では便出発の15分前までに、保安検査場にて本控右下の2次元バーコードをかざして、ご搭乗案内をお受け取りください。  
 ※一部ご利用いただけない場合がありますので、ご利用条件詳細はJALホームページをご確認ください。
- ・空港にてご搭乗手続きを行う場合には、自動チェックイン機に本控右下の2次元バーコードをかざしてチェックイン手続きのうえ、便出発の15分前までに保安検査場を通過してください。  
 ※保安検査場でも、本控右下の2次元バーコードをかざして通過してください。
- ・上記「確認番号」でチェックイン手続きを行う場合は、搭乗券をお受け取り後、保安検査場で搭乗券に印字されている2次元バーコードをかざして通過してください。
- ・ご搭乗の際、お預けになる手荷物がある場合には航空会社カウンターにてお手続きください。
- ・ご搭乗手続きをお済ませの上、便出発の10分前までに搭乗ゲートへお進みください。
- ・本控に表示されている出発時刻については、変更となっている場合がございますので、ご出発前に再度ご確認ください。
- ・ご予約の変更、および、発行店舗以外での払戻しはできません。
- 本控は、お客さまの航空券のご利用に関する重要な内容が記載されていますので、全旅程が終了するまで大切に保管してください。
- 本控の紛失・不正使用などにより発生した賠償の責は負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本控に記載の方以外はご搭乗いただけません。
- 当社の旅行条件書に記載されていない事項については、当該航空会社の国内運送約款に則ります。

発行日 2014年 4月 5日  
 受付番号 TGKETB-01(0001927) 8 9 3 4 J N九州  
 取扱販売店 8 9 3 4 ジョイトラベル

【販売店使用欄】

PNR:VIHT2L REF:NO:001-468-529 JTBTKT:1.00003  
 OCR:55680647632564011  
 IIT-\*7S8581-3 S8581-3(17KZ013-B/04-21)

自動チェックイン機の手続き時、または、  
 JALタッチ&ゴーサービスをご利用の場合は、  
 右の2次元バーコードをかざしてください。  
 なお、2次元バーコードは当旅程にのみ有効です。



No 077580

領 収 証

西尾耕治様 2014年5月21日

金額 753300



但し 旅に費やした  
上記の金額正に領収致しました

係 印

請求No.	
現金	
内 小切手	
振込	
訳	
相 殺	

**JOY TRADING**  
 ジョイトラディング  
 〒811-3103 福岡県古賀市中央1-1-1  
 tel (092)943-1366  
 fax (092)943-1366

JAL eチケット控 / 航空引換証

ニシオ コウジ 様

確認番号

2400 676Y

1. 5月26日 JAL 322便 16:00発  
 福岡 → 東京/羽田  
 FUKUOKA TOKYO/HANEDA  
 個人包括旅行割引運賃 クラス Y  
 座席52G禁煙通路側  
 航空券有効期限: 2014年 5月26日  
 ※予約便に限り有効

全旅程合計

\*\*\*\*\*

<ご案内>

- ・座席指定がお済みの場合は、JALタッチ&ゴーサービスをご利用いただけます。当日空港では便出発の15分前までに、保安検査場にて本控右下の2次元バーコードをかざして、ご搭乗案内をお受け取りください。
- ※一部ご利用いただけない場合がありますので、ご利用条件詳細はJALホームページをご確認ください。
- ・空港にてご搭乗手続きを行う場合には、自動チェックイン機に本控右下の2次元バーコードをかざしてチェックイン手続きのうえ、便出発の15分前までに保安検査場を通過してください。
- ※保安検査場でも、本控右下の2次元バーコードをかざして通過してください。
- ・上記「確認番号」でチェックイン手続きを行う場合は、搭乗券をお受け取り後、保安検査場で搭乗券に印字されている2次元バーコードをかざして通過してください。
- ・ご搭乗の際、お預けになる手荷物がある場合には航空会社カウンターにてお手続きください。
- ・ご搭乗手続きをお済ませの上、便出発の10分前までに搭乗ゲートへお進みください。
- ・本控に表示されている出発時刻については、変更となっている場合がございますので、ご出発前に再度ご確認ください。
- ・ご予約の変更、および、発行店舗以外での払戻しはできません。
- 本控は、お客さまの航空券のご利用に関する重要な内容が記載されていますので、全旅程が終了するまで大切に保管してください。
- 本控の紛失・不正使用などにより発生した賠償の責は負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本控に記載の方以外はご搭乗いただけません。
- 当社の旅行条件書に記載されていない事項については、当該航空会社の国内運送約款に則ります。

発行日 2014年 5月 8日  
 受付番号 MJ6WTF-01(0001927) 8934 JN九州  
 取扱販売店 8934 ジョイトラベル

【販売店使用欄】

PNR: BEGNS REF-NO: 019-330-299 JTBTKT: 1.00001  
 OCR: 55080647660813015  
 11T-\*7S8830-1 S8830-1(17K303D-1/05-26)

自動チェックイン機の手続き時、または、  
 JALタッチ&ゴーサービスをご利用の場合は、  
 右の2次元バーコードをかざしてください。  
 なお、2次元バーコードは当旅程にのみ有効です。





J A L e チケット控 / 航空引換証

ニシオ コウジ 様

確認番号

9 4 0 1 S 3 3 4

1. 5月28日 JAL 333便  
東京 / 羽田  
TOKYO/HANEDA  
個人包括旅行割引運賃

19:30発  
→ 福岡  
FUKUOKA

クラス Y

座席47G禁煙通路側  
航空券有効期限: 2014年 5月28日  
※予約便に限り有効

全旅程合計

\*\*\*\*\*

<ご案内>

- 座席指定がお済みの場合は、JALタッチ&ゴーサービスをご利用いただけます。  
当日空港では便出発の15分前までに、保安検査場にて本控右下の2次元バーコードをかざして、ご搭乗案内をお受け取りください。  
※一部ご利用いただけない場合がありますので、ご利用条件詳細はJALホームページをご確認ください。
- 空港にてご搭乗手続きを行う場合には、自動チェックイン機に本控右下の2次元バーコードをかざしてチェックイン手続きのうえ、便出発の15分前までに保安検査場を通過してください。  
※保安検査場でも、本控右下の2次元バーコードをかざして通過してください。
- 上記「確認番号」でチェックイン手続きを行う場合は、搭乗券をお受け取り後、保安検査場で搭乗券に印字されている2次元バーコードをかざして通過してください。
- ご搭乗の際、お預けになる手荷物がある場合には航空会社カウンターにてお手続きください。
- ご搭乗手続きをお済ませの上、便出発の10分前までに搭乗ゲートへお進みください。
- 本控に表示されている出発時刻については、変更となっている場合がございますので、ご出発前に再度ご確認ください。
- ご予約の変更、および、発行店舗以外での払戻しはできません。
- 本控は、お客さまの航空券のご利用に関する重要な内容が記載されていますので、全旅程が終了するまで大切に保管してください。
- 本控の紛失・不正使用などにより発生した賠償の責は負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本控に記載の方以外はご搭乗いただけません。
- 当社の旅行条件書に記載されていない事項については、当該航空会社の国内運送約款に則ります。

発行日 2014年 5月 8日  
受付番号 2K6WTB-01(0001927) 8934 JN九州  
取扱販売店 8934 ジョイトラベル

【販売店使用欄】

PNR:CAGNW2 REF:NO:019-331-198 JTBTKT:1.00001  
OCR:55080647660818011  
11T-\*7S8830-1 S8830-1(17K303D-1/05-26)

自動チェックイン機の手続き時、または、  
JALタッチ&ゴーサービスをご利用の場合は、  
右の2次元バーコードをかざしてください。  
なお、2次元バーコードは当旅程にのみ有効です。



No. 436639 I

領 収 証

平成 26 年 7 月 24 日

RECEIPT

ご氏名 西尾 耕治 様

(ご注意)  
本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を修正したものは無効とします。

金額	¥ 28,785.-
----	------------

ただし 8/6 岡 小 行 2

ニッポン旅行

上記金額正に領収いたしました。

- 1. 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込
- 4. クレジット(ISAカード)
- 5. その他

30,000円以上  
収入印紙

株式会社 **ニッポン旅行** 中洲川端 支店  
NIPPON TRAVEL CO., LTD.

責任者印  
[Redacted]

担当者

支出内訳書の番号 1-A

調査研究報告書

1 名称	沖縄県那覇市「ナハノホイク」視察
2 目的	那覇市内の公立、私立の認可・認可外の保育施設の情報を発信するサイトの設置について視察するため
3 実施時期	平成26年4月21日(月)午後
4 実施場所	沖縄県那覇市役所
5 参加者	西尾、飯尾、船越、芝尾、姉川議員
6 その他	認可外の保育施設まで含めて発信するところが特徴的である。(別紙報告書あり)

## 那覇市役所行政視察報告

平成26年4月21日（月）

テーマ：保育施設総合情報サイト「ナハノホイク」について

はじめに議会事務局の高江洲主査、石橋主査より、那覇市の概要について説明があった。続いて那覇市こどもみらい部こどもみらい課の武元主幹より標題の「ナハノホイク」についての説明があった。

公立保育園9、私立保育園61、認可外保育園91あり、公立幼稚園は36、私立幼稚園は6あり。待機児童は現在447名で若干増加傾向にある。人口当たりの待機児童数では中核市で全国1位。認可外の91のうち16園が独自にネットに情報を出しているが、あとは出しておらず。

ナハノホイクの事業内容としては、あまり出されていなかった認可外保育所の情報を中心として公立保育園の情報もあわせて発信。各園の所在地、保育料金、保育の特徴などの情報。システム構築の当初予算は約2500万、維持経費は年間250万ほどかかり、今後バナー広告も検討している。

取り入れたきっかけは、担当部署への相談に認可外保育所を探し

ている市民の方も多いと思われたため、市民へのわかりやすい情報提供を試みようとの思いで取り組み始めた。地元の関連する団体としては、認可園の月1回の園長会の中で説明を行った（公立・私立は別々）。認可外に関してはまとまった団体がないため、H25年11月に説明会を開催、周知を行った。市民の反響は良く、関心を持っている市民は多い様子。一日50人ほどが閲覧、土日は少ない。再訪問が多く、県外からもあり。一定の評価もされている様子。

古賀市で考えてみると、経費のことを考慮して、保育所連盟を中心に簡単な形から立ち上げてみるのがよいのではと思う。なお、古賀市ではこども子育て会議もせっかく設置されているので、待機児童対策としてそこにこの課題を研究してもらうことも一つの手ではないかとも認識する。

支出内訳書の番号 1-B

調査研究報告書

1 名称	沖縄県宜野湾市「シルバーパスポート事業」視察
2 目的	高齢者の引きこもりを防止し、外へ出ることにより健康づくり・生きがいづくりに繋げている状況を視察するため
3 実施時期	平成26年4月22日(火)
4 実施場所	沖縄県宜野湾市
5 参加者	西尾、飯尾、船越、芝尾、姉川議員
6 その他	説明していただいた長澤氏は保健師の資格を有し、分かりやすい内容であった。(別紙報告書あり)

## 沖縄県宜野湾市行政視察報告

平成26年4月22日(火)

テーマ：シルバーパスポート事業について

はじめに議会事務局 宮城事務局長より挨拶と宜野湾市についての市勢、概要について説明があった。引き続き宜野湾市役所 健康推進部 介護長寿課 長寿支援係 長浜係長より標題のシルバーパスポート事業について説明があった。

事業実施の経過では、敬老祝い金からの同事業への移行のいきさつ、流れの説明があり、事業目的として高齢者の引きこもりを防止し地域活動への転換を促すことによって、健康なお年寄りの創出と、健康寿命の延長を促進させることが狙いとのこと。

内容としては、満65歳以上の市民へ、シルバーパスポートカードを渡し、公共施設利用の免除あるいは減免や、市の主催の各種イベント（6月恒例の沖縄舞踊のイベントが入場無料など）の割引などの実施がある。満75歳以上は市内の民間運営の施設にて利用できるシルバーパスポート利用割引券を交付し、健康づくりに利用していただいている。

交付方法は、通知文で該当者に送り、自治会事務所や市役所窓口にて受け渡し。クーポン券は毎年度発行し、有効期限付きで1月500円の12か月分発行。全体予算は平成26年度で1731万。クーポン券を利用された施設は商工会を通して請求・換金。協力事業者は77事業者。美容・理容事業者の登録が多いが、薬局・タクシーの利用が多い。

今後の課題としては、交通手段のバスへの適用が難しく、詳細な効果が見えず評価・分析の仕方の検討が必要。市の全体のこれ以下率は15,6パーセントでかなり低い。が、事業費の上昇は大きな課題で、対象者の見直しも検討中。外出支援が目的なので、介護予防の施設や行事へ行く移動手段に使えるようなものに考えていきたいとのこと。

祝い金としては100歳以上と白寿、米寿には別に交付している。

古賀市においては、高齢化率はかなり早く進行すると思われるため、予算のことを考慮すれば、クーポン券の発行は難しいのではないかとも思えるが、企業・事業所が多いことから、ボランティア的な認識を持っていただき企業サービスの部分で、できる範囲内でのお願いをしていくことは可能だとも考えられる。予算がかからず、



家の外へ連れ出す方策は必要だとも思う。古賀市では、外出支援はポイント制にしているが、利用が少なく一捻り仕掛けが必要だ。

C

C

支出内訳書の番号 1-C

調査研究報告書

1 名称	沖縄県那覇市 首里公民館視察
2 目的	公民館事業と地域コミュニティについて、地域を巻き込んだイベントや事業で活性化を図っている状況を視察するため
3 実施時期	平成26年4月22日(火)
4 実施場所	沖縄県那覇市首里
5 参加者	西尾、飯尾、船越、芝尾、姉川議員
6 その他	施設も充実しており、活発に活動されてあった。(別紙報告書あり)

## 那覇市首里公民館行政視察報告

平成26年4月22日(火)

テーマ：公民館事業とコミュニティ活動について

那覇市教育委員会 生涯学習部 首里公民館 比嘉館長より説明を受けた。

はじめに同公民館の概要、歴史、施設の機能などの説明があり、開館31周年目になり、那覇市で3番目に設置され、市内では最大級の大きさ、文科省の優良公民館表彰を2度受賞、92団体が常にご利用、常設学習スペースが広く、講座用の畑もあることなどの説明があった。

次に、職員体制は5名で運営、開館時間は9～22時まで、サークルは21時まで。休館日は国民の祝日と慰霊の日(6月23日)と年末年始とのこと。

次に、各種公民館講座について説明があり、成人講座「おもしろそうし入門」は昨年10月より全6回の講座で90名参加・市民講座「親子ふれあい体験乗船会」はグラスボートの体験乗船で70名参加しNPOに手伝ってもらった・乳幼児学級「こっこママCLU

B」は育児しているお母さんが孤独にならないように交流の意味で蒸しケーキをみんなで作った・高齢者学級「守礼大学」は歴史博物館や中域にある遺跡を使っている・青年のための講座「多様な性を学ぶ」は全4回で講師は東大出身の大学教授砂川先生・家庭教育学級「こどもの世界をのぞいてみよう」は首里給食センターで試食会をした・親子ふれあい教室「親子で畑人」などの詳細な説明があった。

次に、公民館を取り巻く地域交流についても説明があり、第10回夕涼みまつり（毎年開催、去年は10月19日開催）・第31回公民館まつり（前夜祭26年2月2日開催、ダンスパーティー参加者150人、本祭り8・9日近隣小学校の総合学習発表、健康相談コーナー、フォークダンスの集い、音楽のタベ、カラオケの集い、ファッションショー、チャリティーバザーなどを開催）・新春ウォーキング（1月26日開催、サークルの一つの「古都首里探訪会」が中心となり26名参加）などについての説明があった。

これらの事業は、まさに地域を巻き込んだ事業で、かなり密に地元と連携を取っている様子。もちろん施設の内容も充実しているため、おのずと近隣の住民が集まってきているようだ。さらに、公

民館のスタッフもいろいろな知恵を出しながら努力していることが  
うかがえる。古賀市においても、ここにきて地域コミュニティが整  
ってきつつあるので、他自治体の先進事例を勉強し、いろいろな年  
齢層の市民が自然体に集まってくるような政策が必要だと感じた。

C

C

支出内訳書の番号 1-D

調査研究報告書

1. 名称	沖縄県那覇市 那覇商工会議所視察
2. 目的	東京での講演会をライブ中継する「夕学（せきがく）講座」、その他の事業で地域経済の活性化を図っている状況を視察するため
3. 実施時期	平成26年4月22日（火）
4. 実施場所	沖縄県那覇市
5. 参加者	西尾、飯尾、船越、芝尾、姉川議員
6. その他	那覇商工会議所は観光、建設部会が多く、ものづくり（工業系）が少ない状況であった。（別紙報告書あり）

## 那覇商工会議所事業視察報告

平成26年4月22日(火)

総務部 福地次長より説明を受ける。3700名の会員で構成、9部会で活動、中でも、観光サービス部会・建設部会・小売業部会が主になっており、工業(ものづくり)が弱いのが課題。

○ 続いて今回のメインテーマの「夕学講座(せきがくこうざ)」について説明を受ける。10年ほど前から、民間の研修機関 慶応丸の内シティキャンパスによって、東京で講演会が行われており、それをライブでインターネット配信で、商工会の中で放送するもの。年間16本ほど開催。同時中継のため地理的な状況を克服し、那覇市からの助成もあり。18時30分から始まり約2時間、講演の終了後にFAXで質問も出せる。平均20名が参加。100名まで受け入れ可能。受講料は1講演に1000円。年間25万ほどの経費が掛かる。録画は不可。臨場感があるとの感想。

○ その他事業として、成人病検診への支援・啓発なども行っている。大きな事業としては、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の策定に参加、那覇空港滑走路増設の早期着工の働きかけ、那覇港湾の整備促進、読売巨人軍那覇協力会活動の推進、沖縄科学技術大学院大学の

開学に向け周辺整備の要請活動などを県と協力しながら行っており、地元の那覇市役所や市議会とはあまり交流は無いとのこと。

場所柄、観光協会のほうが勢力は強く、台湾との交流が深いとのこと。改正沖縄振興特別措置法が4月1日より施行され、影響はあり、プラスにはなるとのこと。

○ 古賀市でこの夕学講座の開催は可能だとは思われるが、スケールメリットを考慮すれば、近隣の商工会との共同事業にした方が面白いのではと考える。特に若手経営者の所属する青年部が中心となって進める方がよいのではとも思った。また、市役所の若手職員にも自己啓発の観点から参加を促すことも、人材育成の意味でも面白いのではと感じた。

○



支出内訳書の番号 2-A

調査研究報告書

1 名称	精神障害者自立支援施設「サンマリーナ」(社会福祉法人JHC板橋会) 視察
2 目的	日本で初めてのクラブハウス方式の施設の運営、過渡的雇用について視察するため
3 実施時期	平成26年5月27日(火)
4 実施場所	東京都板橋区南常盤台
5 参加者	西尾、飯尾、船越議員
6 その他	毎日行っているミーティングに参加させていただき、具体的な状況が確認できた。(別紙報告書あり)

精神障害者自立支援施設「サン・マリーナ」(社会福祉法人 JHC 板橋会) 視察研修報告書

視察日時 平成26年5月27日(火) 10時より

視察地 東京都板橋区南常盤台 精神障害者自立支援施設「サン・マリーナ」

視察目的 クラブハウス方式の運営、過渡的雇用の実施について

参加者 西尾耕治 飯尾助広 船越義彰

視察内容

施設に伺うとまず受付にて訪問者は住所、名前を記帳し施設入館料として50円を払う。受付にはメンバーの方が早速対応している。一連の挨拶の後、会議方式で説明が始まり、司会もタイムキーパーもメンバーが行い、職員がフォローしている。

はじめに、主催者より挨拶、板橋区福祉部障がい者福祉課長 坂井氏、サン・マリーナ諮問委員会(施設の運営をサポートする地域の方達のグループ)の依田禎子委員長・伊藤恵子委員、JHC 板橋会の寺谷隆子理事長より挨拶され、それを受け訪問したこちらからも三人全員が挨拶をおこなった。

次に、参加者のメンバー、スタッフ、挨拶した全員でそれぞれが自己紹介と気分調べということで今の気持ちの状況を発表。なおこれは毎日同施設では行われており、そこに自分たちが参加させていたでいる様子。

次にオリエンテーションということで施設の概要と運営の状況を西根施設長より説明があった。日本で初めてのクラブハウス方式の施設、同方式は1940年代にアメリカで誕生し欧米を中心に世界で約330カ所、日本では6カ所、サン・マリーナは1992年から板橋区単独事業として運営、施設は会員登録したメンバーが自主

的に運営する場所となっている。

活動は、ランチ・喫茶、事務、相談援助、教育研修、一定の期間に実際の職場で働く過渡的雇用などがある。ほかに友愛訪問、諮問委員会などについての説明があった。

次にメンバーの二人の方から過渡的雇用についての体験談の発表、浅見さんからはウォールストリートジャーナルジャパンでの報告、富沢さんからはベーカーアンドマッケンジー法律事務所での活動報告。また、ちょうど施設に来られた遠藤さんからは帝京大学の講師として活動状況の報告があった。最後に感想と色紙にメッセージを求められ、各自所感を述べた。

このような施設が自主的に運営されていることには大変感銘を受け、地域とのつながり、行政からの支援は古賀市においても参考にすべきだと感じた。古賀市内にはこのような比較的大きな施設はないが、対象になる方は少なくないとも思われることから、近隣の自治体まで視野に入れて協力体制の構築は行っていくべきだろうとも思う。

支出内訳書の番号 2-B

調査研究報告書

1 名称	東京都板橋区ハッピーロード大山商店街振興組合、全国ふる里ふれあいショップ「とれたて村」視察
2 目的	空き店舗の活用（全国の自治体と連携してアンテナショップとして利用）について視察するため
3 実施時期	平成26年5月27日（火）
4 実施場所	東京都板橋区大山町 ハッピーロード大山商店街
5 参加者	西尾、飯尾、船越議員
6 その他	経済産業省等から表彰を多く受けており、地方の自治体との連携が面白いと感じた。（別紙報告書あり）

# 視察報告書

平成26年6月2日

(会派名)

○視察日時

平成26年5月27日(火) 13時00分～14時00分

市議会公明党  
西尾耕治

○視察地

県市 東京都板橋区ハッピーロード文山商店街振興組合

○視察目的

空き店舗の活用(フナシヤカ)について

○参加者

西尾耕治 飯尾助広 飯越義彰

○視察内容

石川理事長より説明をうけた。商店街の課題として業種  
偏り、後継者難、マーケットズレ、若い人の商店街離れ、車物の  
老朽化、防犯問題、道路と歩道(再開発)への説明  
があり、次に、文山周辺の状況、商店街の概要、商店街の歩  
商店街の組織状況、商店街の実施状況と予算、コミニ  
ティ事業としての「100-プラザ」、安心安全、環境対応への取り組み、  
全国に広がる「ショップ」モデルの目的とコンセプト、事業  
内容：運営状況、ふじエイベント、交流事業(各自治体との)などの

○感想 説明をうけた。

現場を實際に歩き、商店街内で昼時にヒカカリ  
会事をしていく団気を感じた。この町は実際に  
理事長と一緒に訪れ、説明をうけた。全国の自治  
体との連携、出店については大変興味深く、  
市議会、駅前、空き店舗の有効利用に力を入  
れている点に感銘を受けた。又、市議会と連携  
の連携を促す点も感じた。

支出内訳書の番号 2-C

調査研究報告書

1 名称	東京都板橋区くらしと観光課視察 (産業観光資源整備事業補助金)
2 目的	区内の企業による区民への見学、研修に対し、備品(ヘルメット)等の補助を行っている状況を視察するため
3 実施時期	平成26年5月27日(火)
4 実施場所	東京都板橋区役所くらしと観光課
5 参加者	西尾、飯尾、船越議員
6 その他	古賀市と産業構造が似ており、大変参考になった。(別紙報告書あり)

# 視察報告書

平成26年6月2日

(会派名)

市議会公明党

○視察日時

平成26年5月27日

15時00分～16時30分

○視察地

県 市 東京都板橋区所、くらしと観光課

○視察目的

老若観光資源整備事業補助金について

○参加者

西尾耕治、飯尾助広、船越義孝

○視察内容

くらしと観光課の新井課長、野口係長、河合氏より説明を頂いた。同区は老若が盛んで、その特徴として「かしら」と「あそび」があり、又、地区住民への理解を促す為、平成21年より、見学、研修を目的とした企業への補助金を設けようとした。現在27社登録。補助金は150万円、30歩まで705種類を用意。毎年1～2ヶ所の見学ツアー実施、体験コーナーあり。企業間同士の交流にもつながり、企業の募集の企業ガイドやDMを使い、100社へ案内、初め13社より返事あり。参加者は60名以上多く、バスツアー、散策ツアー(10人程度)もあり、職員も7名、大方1000円

○感想

程の乗車。7-9-18と、21と180名程の長「結果」規模は違いますが、市況と状況が似ており、結果はかなりの人気が高く、これにより参加企業を増やして行くための事、職員の身割が大きい為、市況では案内ボランティアなどを活用してはどうかかかると思う。尚、市況に工業団地への子ども向けに行くといい実績もあり、板橋区のおら目先をリウヤした市民と対象のありあらしは、とら思ふ。

支出内訳書の番号 2-D	
調査研究報告書	
1 名称	東京都新宿区 落合三世代交流サロン視察
2 目的	多世代間の交流事業やイベント、開設までの成り立ちなどの状況を視察するため
3 実施時期	平成26年5月28日(水)
4 実施場所	東京都板橋区西落合
5 参加者	西尾、飯尾、船越議員
6 その他	3年間のワークショップで入念に計画を立てていき、都会的な多世代間の交流事業であった。(別紙報告書あり)



## 落合三世代交流サロン視察研修報告書

視察日時 平成26年5月28日(水) 10時より

視察地 東京都新宿区西落合

視察目的 施設の成り立ち、実際の運営の状況について

参加者 西尾耕治 飯尾助広 舩越義彰

### 視察内容

同施設の運営団体の落合三世代交流を育てる会の大橋隆代表、佐藤千枝子副代表、山田事務局長らに應對していただき、新宿区役所からも子ども家庭部子育て支援課長の北沢聖子課長・谷口奈々主任主事も参加していただいた。

平成17年に敬老会のことぶき会館の廃止に伴い、平成18年にワークショップが立ち上がり、3年間の十分な会議を重ね、多世代間の地域の人たちが集えるコンセプトで平成21年に開設。

もともと管理主体が区役所の子ども家庭部だったため、敬老会が通常望むようなカラオケ、お風呂やマッサージ機材は設置せず、子供と高齢者の接点を多く持つような施設、インテリア、備品の設置をしているとのこと。火曜日にはカフェで高齢者のグループがつどい、イベントは夏まつり、わんぱくまつりが開催されている。ここでは児童館ではないのでゲームができるとのこと。また総合学習の一つとして餅を焼いたりして学校との連携を取っている。自治会の役員は絡んでおらずあくまでも施設としての運営は独自性を持たせている様子。

同じ建物には上階には児童館、下の階にはこども園があり、上下からこどもや保護者が訪れるとのこと。大きなエレベーターが設置されており障がい者も利用されている。施設利用ではサークルはオープンで、希望者はすべて受け入れている。

運営委員会のメンバーはボランティアで、区からの補助は年間約1000万でほとんどは事務局長などの職員の人件費。月に1回運営委員会があり、区役所の職員と児童館の館長も入るが、職員からはアドバイスぐらいで運営委員会の自主運営になっている。

古賀市においてはかつて舞の里で似たようなコンセプトでの施設の計画もあったが、諸処事情により中止になったこともあり、今後施設を中心とした開設は難しいのではないかと思われる。古賀市では地域コミュニティがかなり活発になってきているのでその人的つながりを中心とした組織で進めていくほうが賢明だと考える。また、市内の関係機関が意識していただければなおいっそう進められるのではないかと感じた。

支出内訳書の番号 3

調査研究報告書

1 名称	障害者施設 福間サンテラス 多機能型事業所視察
2 目的	施設の運営状況、歴史、概要、ヘルパーの講習、現在の課題等について視察するため
3 実施時期	平成26年5月29日(木)
4 実施場所	福津市手光2274-1
5 参加者	西尾耕治 (他近隣自治体議員)
6 その他	近隣では同様施設が少なく、古賀市の方も入所している。(別紙報告書あり)

# 視察報告書

平成26年5月29日

(会派名)

## ○視察日時

平成26年5月29日 10時00分～12時00分

## ○視察地

福岡県福津市 先 福間サテラス 多機能型事業所

## ○視察目的

障害者施設としての機能、状況について

## ○参加者

西尾耕治 他 近隣自治体議会議員 (計5名)

## ○視察内容

小規模作業所として55人に開設。障害者の施設として近隣自治体より多くの人が通所している。施設内では食品班として菓子、パン製造。牛乳パックの知紙を作り、名刺作り、しおつ、袋作り。月に1回サイクル事業のイベントも行っており、又、外部企業にて施設外就労班として活動している方々いる。地元福津市も協力、支援もあり、生活介助などでヘルパー事業も行っている。尚、短期入所もあり、かなり備用が多い。

## ○感想

ヘルパー派遣事業の行方、2020年、ヘルパー講習の際、障害者への案外が少なくて、障害者への対応が出来ないヘルパーを多く、それからの日本課題と向き合おうと感じた(障害者の親の高齢化)。国県の対応には向きか、市と連携して事業に協力をお願いしたい。又、志願者からの入所者もいるが、近隣自治体の何らかの支援は必要ではないかと認識した。

支出内訳書の番号 4-A

調査研究報告書

1 名称	岡山県総社市視察
2 目的	①障がい者千人雇用、②新生活交通「雪舟くん」(デマンド型公共交通システム)について視察するため
3 実施時期	平成26年8月6日(水) 14時~16時30分
4 実施場所	岡山県総社市役所
5 参加者	西尾、芝尾、姉川、舩越、飯尾議員
6 その他	全国的にも知られている政策を2件とも視察させていただいた。また、事業所にも訪問させていただいた。(別紙報告書あり)

## 岡山県総社市視察報告

平成26年8月6日（水）14時～16時30分

### 1、「障がい者千人雇用」の取り組みについて

はじめに、議会事務局の守安事務局長より、総社市の概要について説明あり。人口6,8万人で近年は微増。吉備文化発祥の地、備中国府跡があるであろうとの伝承あり。全国の中で大きさが10番目の前方後円墳もある。桃太郎伝説の鬼ノ城（きのじょう）には鬼がいたとの話もあり。水墨画の雪舟の出生地。産業は三菱自動車の部品工場、ヤマザキ、紀文などがあり工業都市として発展。岡山市から30分のベッドタウンとしても位置付けられている。

事務局長の説明ののち、保健福祉部の渡辺次長、弓取主幹、吉田主事より本テーマについて説明があった。内容については、障がい者千人雇用についてのきっかけから、定義、現在の市内における障がい者数、1000人の考え方、障がい者千人雇用の現状、千人のカウント基準、精神障がい者と発達障がい者の位置づけ、総社支流の特色ある取り組みについて、「障がい者千人雇用委員会」の設置、障がい者千人雇用推進条例の制定・施行（平成23年12月）、市民

の方への障がい者雇用のアピール、市民・企業への啓発、市長のトップセールス、広報活動（広報そうじゃにおいて表紙・特集を繰り返す）による障がい者の雇用のアピール、商工会議所との協定締結（平成23年10月）、障がい者を対象とした就職面接会の実施、ハローワークとの連携による就労支援ルームの運営、障がい者千人雇用センターの設置（平成24年4月）、市外の障がい者も登録可能の件、関係機関との連携、農作物全量買い取り制度の活用、デマンド型公共交通「雪舟くん」の有効利用、ケアホーム「今日も元気」の開所（平成25年1月）、福祉的就労から一般就労への移行が大きな目的、障がい者も含めて市民全体が、「生涯 働く」ことを一番に重点を置いている、などのことについて詳細な説明があった。

質問では、費用・補助について、企業・事業所へのアプローチ、雇用開発協会について、市役所内の職員の状況について、広報の写真について、担当課内の職務について、ネーミング・条例について、給与について、農作物全量買い取り制度との関係について、千人のカウント基準について、などの事柄について質疑応答があった。古賀市では障がい者手帳を所持する市民が約2700人ほどおられるので、750～800人の方たちを目標にしているような感じだ

と思われる。福祉施設や社会福祉協議会にお任せして置くだけではなく、市のトップである市長自らこの課題に取り組むことが大切であり、また、議会においても積極的に施策を進める支援を行うことが重要であると認識した。

## 2、総社市新生活交通「雪舟くん」について

市民環境部の人権・まちづくり課の別府係長、仁科主任より説明があった。「雪舟くん」の導入までの経緯、コミュニティバス「こまわりくん」から「雪舟くん」への移行、交通体系の見直し方針について、導入前の市民へのアンケート調査、導入前の交通体系、導入前後の交通体系と予算、「雪舟くん」の概要、利用状況、利用者・未利用者へのアンケート調査、「雪舟くん」の運行見直し、などのほか、車種について（ハイエース8人乗り4台、ノア5人乗り5台）、使い方がほとんどタクシーと同じことで1回300円、乗合になっている、8時頃が中心地に向かうことが多いこと、市役所があいている時間のみ運行、遠いところで40分かかる、登録制、配車は5人のオペレーターで対応、システムはNTTのデマンド交通用のパッケージを使用、などの詳細な説明があった。



質問では、配車係について、運行管理・委託について、通勤・通学の市民との兼ね合い、経費について、ネーミングについて、地域的なことについて、などのやり取りがあった。

古賀市では、現在西鉄バスへの補助により公共交通の施策は補ってはいるが、利用者が減っていけば補助金をあげていくしか方法はとれず、利用者を増やすか、どこかの時点でコミュニティバスか、デマンドシステムか、ボランティアによる運営に変更していくかあるいはそれらのいずれかの複合型による運営かが課題だとは思いますが、経費の事もあり、どうしても慎重になるところは一定の理解はできる。が、わが市においても、高齢化は急速に進んでいくことと思われることから、早急に方向性を打ち出すことが重要だと考える。

支出内訳書の番号 4-B

調査研究報告書

1 名称	岡山市 JR岡山駅西口奉還町商店街振興組合視察
2 目的	商店街のにぎわいづくりと空き店舗対策について視察するため
3 実施時期	平成26年8月7日(木) 10時30分～12時
4 実施場所	岡山市北区奉還町2丁目「奉還町りぶら」
5 参加者	西尾、芝尾、姉川、船越、飯尾議員
6 その他	岸理事より説明を受け、商店街内も見学させていただいた。 (別紙報告書あり)

## 岡山市奉還町商店街振興組合視察

平成26年8月7日（木）10時30分～12時

商店街のにぎわいづくりについて

報告者 西尾耕治

はじめに、岸理事長より、商店街の概要、歴史、名前の由来、御自身が北九州大学卒業であることなども含めてあいさつがあった。そして本題である内容の説明に入った。

岡山市内の三つの商店街の中でも下町の雰囲気があること、近年の郊外の大型スーパーや大型専門店の増加、職種がドラッグストア・チェーン店化、飲食店の増加などの要因、後継者不足・若者離れ・経営者の高齢化の問題、倉敷市の大型のイオン・アリオ・三井アウトレットモールによる影響、奉還町商店街の基盤整備事業、コミュニティ施設「りぶら」の開設・用途・目的・利用状況などについて、岡山駅西口の開発について、中小企業庁の「がんばる商店街77選」のアイデア部門に選出されたこと、地域連携イベントの奉還町マップの作成・浪漫ティック奉還祭（7月の最終土曜日開催）・ウエストサイドミキサー（奉還町アート商店街、8月に開催）、年間

イベントとして「奉還百縁日」・「土曜夜市」・「ハロウィーン祭り」・「奉還町腕ずもう大会」・「歳末イベント」・「音楽イベント」・サッカーチームの「ファジアーノ応援イベント」などの開催について、岡山市の商店街連合会のイベント「ゴールデンフェスタ岡山」・「ええじゃないか岡山大誓文払い」とのかかわり、地元の岡山工業高校や大学の先生・小学校・中学校などの教育機関や企業・事業所・近隣の商店街との連携、今後の商店街の在り方、12月までにコンセプトを打ち出していくこと、マスコミへのアピール、イベントに頼らないで人手を創出する工夫、などについて詳細な説明があった。

質問では、学校を巻き込んだ事業について、ウエストサイドカーニバルについて、ご当地アイドルについて、岡山県立工業高校との関係、マスコミとの関係、商工会青年部・婦人部について、「りぶら」の利用状況・カルチャー教室について、地権者と今後のコンセプトについて、空き店舗について、土曜夜市のクレーム・今後の課題について、などの質疑応答があった。

その後、現地を理事長とともに見学させていただいた。

古賀市と比較するとかなりのイベントの開催回数が圧倒的に違いがあり、何かをやり続けることが大事だという岸理事長からの話を

聞けば、成功している事例を目の当たりにすれば納得はする。が、中心者の決意と情熱と行動力が必要のため、古賀市においてはまず、人材の確保とアドバイスが必要であり、あくまでも事業者が中心となり自主的な運営する組織の強化に力を入れるべきだろうと考える。特に、商工会青年部や料飲店組合青年部などの各種団体の若手グループの活用が重要になってくるのではと感じた。

支出内訳書の番号 4-C

調査研究報告書

1 名称	岡山県立図書館視察
2 目的	8年連続入館者数日本一の施策について視察するため
3 実施時期	平成26年8月7日(木) 13時30分～15時
4 実施場所	岡山市北区丸の内 県立図書館
5 参加者	西尾、芝尾、姉川、船越、飯尾議員
6 その他	三村館長より説明を受け、館内の施設も見学させていただきました。(別紙報告書あり)

## 岡山県立図書館視察研修

平成26年8月7日（木）13時30分～15時

8年間連続都道府県図書館来館者数全国1位の状況について

三村館長より、自己紹介と歓迎のあいさつの後、図書館の概要について説明があった。5課12班の組織体制について、本の種別に応じてカウンターを設け専門の担当者を配置していること、職員の体制について、司書の内訳と市町村図書館との人事交流について、これまでの経緯と施設の内容、初期の移転建設計画の際に反対運動があったこと、施設規模、有料の駐車場に移行したことについて、図書収蔵能力、施設内の有料貸出施設について、防災対策と大災害時における県庁のバックアップ施設としての位置づけ（県庁の目の前に位置しているため）、予算について、入館者数・開館日数・個人貸出冊数・インターネット予約・登録者数について、蔵書冊数・重点収集資料・児童書全点購入・図書館ネットワークシステムについて、などの詳細な説明があった。

質問では、レファレンスサービスについて、一階の喫茶コーナーの民間委託について、全国1位の入館者数の継続と広報とマスコミ

との関係について、イベント開催の状況について、アンケートの実施の内容について、開館時間と入館者数との関係について、入館者数が多い秘訣・ノウハウについて、などの質疑応答があった。

その後、館長の案内で、地下の駐車場から、各階の隅々まで見学をさせていただいた。

古賀市の図書館として考慮できるところは、三村館長が語ってくれた資料の充実、専門の担当者の育成・配置、資料の展示を丁寧に行っているところにヒントがあるのではないかと感じた。また、開館時間については、必ずしも長く開けていることで効果が上がるとは思われないとの言葉が印象的だった。むしろあけている時間の中でいかに市民に来ていただけるような魅力づくりをするかのほうが効果が上がるのではと思われた。